

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	臓器移植対策事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	疾病対策課臓器移植対策室		室長 間 隆一郎		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-1 適切な移植医療を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・「臓器の移植に関する法律の運用に関する指針(ガイドライン)」(平成9年10月8日 健医発第1329号 厚生省保健医療局長通知) ・臓器移植対策事業の実施について				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臓器移植を公平・公正に実施するための臓器提供のあっせん体制の確保、移植医療の理解を深め、臓器提供に関する意思表示をしていただける環境を整えるための普及啓発及び臓器移植に関する研究を行うことで臓器移植の公平かつ効果的な実施を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①臓器移植のあっせんに関する事業【補助率】定額(10/10) 臓器移植法第12条に基づくあっせん機関として臓器移植に係る連絡調整等を行う。 ②臓器移植あっせん事業体制の整備に関する事業【補助率】定額(10/10) 臓器提供医療機関の体制整備を支援するとともに、あっせん事業の従事者に対する研修を行う。 ③臓器移植に係る普及啓発に関する事業【補助率】定額(1/2) 広く国民に移植医療を啓発し、臓器提供に関する意思表示が行われる環境を整える。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	512	808	719	665	641	
		補正予算		▲ 25				
		繰越し等						
		計	512	783	719	665	641	
		執行額	506	741	719			
	執行率(%)	98.83%	94.64%	100.00%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	○臓器提供意思登録システム登録者数	成果実績	人	58,114	95,068	107,634	前年度以上	
		達成度	%	155.53%	163.59%	113.22%		
		【参考】 意思表示割合	%	-	20.0%	27.3%	-	
		【参考】 提供者数	件	83	109	116	-	
		【参考】 移植件数	件	168	306	333	-	
【参考】 ・脳死下臓器提供者数に占める意思表示のあった者の割合(改正法施行後) (※H22.7の改正法施行により本人の臓器提供の意思が不明の場合、家族の書面による承諾により脳死判定、臓器摘出が可能となった。) ・臓器提供者数 ・臓器移植件数								
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①臓器提供意思登録システム新規登録者数 ②臓器提供意思表示カード(シール含む)配布枚数	成果実績 (当初見込み)	人	23,987 (前年度以上)	40,803 (前年度以上)	18,564 (前年度以上)	- (前年度以上)	
		成果実績 (当初見込み)	枚	8,267,464 (前年度以上)	11,239,410 (前年度以上)	3,197,418 (前年度以上)	- (前年度以上)	
単位当たりコスト	2,159,159(円/移植1件あたり)		算出根拠	平成23年度の補助金(執行額) ÷ 平成23年度の移植件数 = 1件あたりコスト 719,000,000円 ÷ 333件 = 2,159,159円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	あっせん業務関係事業費	376	351	臓器移植ネットワークコーディネーター員数の増(18百万)、提供事例発生時現地派遣旅費の減(▲42百万)				
	あっせん事業体制整備費	262	263					
	普及啓発事業費	17	17					
	運営管理費	10	10					
	計	665	641					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	臓器移植は、病気や事故によって臓器が機能しなくなった方に、他の方の健康な臓器を移植して、機能を回復させる医療であり、臓器不全に対する根治治療として、それに苦しむ患者にとっての大きな希望となっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	移植機会の公平性を確保するため第三者機関であるあっせん機関が必要であり、臓器移植法に基づき、現在(社)日本臓器移植ネットワークが臓器のあっせん業を統一的に実施している。臓器あっせんの適正な実施、あっせん機関の安定的な運営のため国が補助を行う必要がある。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	平成22年度においては、臓器移植ネットワークにおいて新規採用を予定していた臓器移植コーディネーターが予定とおり採用できなかったことや、臓器提供事例が想定数を下回り、あっせんにかかる経費が支出されなかったことが要因となっている。
資金の流れ、費目・使途	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	臓器あっせん業務を適切かつ効率的に推進していくため、レシピエント検索システム、臓器提供意思登録システムの保守業務等については、当該システムの構築業者との間で契約を締結している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	臓器提供意思表示カード等を作成し、行政窓口、医療機関、コンビニエンスストア等に設置するなど行っているが、臓器移植法改正に伴い、健康保険証、運転免許証に意思表示欄が設けられることになったため、カード作成費等の見直しを行っている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	臓器提供、移植については、「提供する権利」、「提供しない権利」、「受ける権利」、「受けない権利」それぞれの考えが尊重されるべきであり、そのために臓器提供のあっせん体制の確保、意思表示の機会の整備、普及啓発等を行っている。これらにより、移植医療の理解の促進、公平な臓器あっせんが図られるものであり、負担関係は妥当と考える。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	事業の効率的かつ効果的な実施を図るために必要なシステムの保守等を再委託して支出しているものであり、合理的である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	臓器移植については、臓器提供者の家族に対する説明、医療施設間の連絡調整、摘出された臓器の搬送、移植患者選定等、多岐にわたる業務により成り立っており、こうした業務(臓器のあっせん業)に必要な費目を補助対象経費としている。
	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国としては、臓器移植への理解を深めていただくことにより、臓器を提供する、提供しないにかかわらず意思表示をしていただくことを一つの目的としている。そのため、臓器提供意思表示の機会として意思表示カードの作成や健康保険証、運転免許証に意思表示欄を設けるなどの体制整備を図っており、様々な考えを持つ方々に配慮した方法として適切と考える。
活動実績、成果実績	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	国民に臓器提供の意思表示をしていただくため、様々な方法について普及を行っているが、書面による意思表示記載については総数の把握が困難であるため、成果目標として把握できる意思登録システム登録件数を指標とし、その目標を前年度以上として掲げていることは妥当と考える。また、活動実績についても見込みの設定が困難であるが、臓器移植について一人でも多くの方に理解を深めていただき、臓器提供の意思表示を行っていただくための活動として有効であったと考える。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	臓器提供意思登録システム等、有効に活用されている。
	点検結果	移植機会の公平性の確保と、最も効果的な移植の実施という両面からの要請に応えた臓器配分が行われることが必要であることから、臓器のあっせんは、臓器移植ネットワークが全国の情報を一元管理し実施している。臓器提供は、発生のタイミング、発生場所、運搬方法等事例毎に臨機応変な対応が必要であるが、当該団体において、これまで蓄積されたノウハウを活用し、全国一律の選定基準で公平に実施されている。 また、倫理的な観点からあっせんの対価として財産上の利益を得ることは許されない状況において、補助金を含めた限られた財源の中で効果的・効率的な事業を実施している。	
予算監視・効率化チームの所見			
改善部	臓器移植対策事業については臓器の移植に関する法律に基づく必要な事業であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	臓器移植対策事業については、平成25年度概算要求において普及啓発事業など移植医療を推進するために必要な予算を確保するとともに、経費効率化の観点からあっせん業務関係事業費等の一部見直しを行っている。(反映額: ▲25百万円)		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	172	平成23年行政事業レビュー	149

※平成22年度実績を記入

厚生労働省
741百万円
(社)日本臓器移植ネットワークに対し、
臓器移植法第12条に基づくあっせん業を許可。

臓器移植法第3条に基づき、移植医療について国民の理解を深めるために必要な措置を講ずるよう努める。

A. (社)日本臓器移植ネットワーク
741百万円
臓器移植を公平に実施するため、臓器移植法第12条に基づく国内唯一のあっせん機関として臓器移植に係る連絡調整等を行う。

【随意契約】

B. (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
10百万円
移植対象者(レシピエント)検索システムの保守業務。

28百万円
移植対象者(レシピエント)検索システムのレシピエント選択基準(心・肺・肝・腎)変更プログラム改修委託。

【助成】

F. (財)日本アイバンク協会
4百万円
角膜移植に対する普及啓発及び広域的な角膜あっせん体制整備や角膜移植推進方策の検討を行う角膜広域活動連絡会開催など角膜提供者確保事業を実施。

【随意契約】

【随意契約】

C. 日本カーライフアシスト(株)
5百万円
JACLA VISION(自動車教習所における放映媒体)でのCM放送業務。

E. (株)メディアトラスト
11百万円
臓器提供意思登録システムの保守業務。

5百万円
法改正に伴う臓器提供意思登録関係ホームページ改修委託。

5百万円
法改正に伴う臓器提供意思登録システムプログラム変更改修委託

【随意契約】

D. (株)電通
7百万円
インターネット広告によるバナー掲載業務。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する) (単位:百万円)

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）	A.(社)日本臓器移植ネットワーク			D.(株)電通		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	コーディネーター等あっせん業務従事者の給与	249	雑役務費	インターネット広告によるバナー掲載業務	7
	印刷製本費	啓発用ポスター、パンフレット、研修用テキスト等の印刷	151			
	旅費	コーディネーター派遣旅費、研修講師旅費	86			
	賃借料	事務所賃借料、緊急車両駐車場賃借料	52			
	通信運搬費	電話料、パンフレット郵送料、意思登録カード郵送料	57			
	検査費	HLA検査費	30			
	外部委託	(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西 レシピエント検索システム保守	38			
		(株)メディアトラスト 臓器提供意思登録システム保守	21			
		(株)電通 インターネット広告	7			
		日本カーライフアシスト(株) JACLA VISIONIによる公共広告	5			
	使用料	コピー使用料、各種会議室使用料	20			
	消耗品費	血清保存用ドライアイス及び容器、ウイルス検査キット、事務用品	9			
	諸謝金	研修講師謝金	6			
	助成費	(財)日本アイバンク協会 角膜提供者確保事業助成	4			
	雑役務費	会議議事録作成、普及啓発資材封入・送付作業、提供事例発生時雑務	3			
	会議費	研修会開催経費、評価委員会開催経費	2			
	その他	事務用備品	1			
	計		741	計		7
	B.(株)エヌ・ティ・ティデータ関西			E.(株)メディアトラスト		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	保守料	レシピエント検索システムの保守業務	10	保守料	臓器提供意思登録システムの保守業務	11
	雑役務費	レシピエント選択基準変更に伴うプログラム改修	28	雑役務費	法改正に伴う臓器提供意思登録ホームページ改修	5
				雑役務費	法改正に伴う臓器提供意思登録システム改修	5
	計		38	計		21
	C.日本カーライフアシスト(株)			E.(財)日本アイバンク協会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	JACLA VISIONIによる公共放送放映に関する業務(CM作成、放送等)	5	印刷製本費	ポスター、パンフレットの印刷	2
				旅費	角膜広域活動連絡会出席者旅費	1
				その他	広報誌等送料、広報資材作成、資料発送費、角膜広域活動連絡会開催費	1
	計		5	計		4

支出先上位10者リスト

A. (社)日本臓器移植ネットワーク

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本臓器移植ネットワーク	臓器移植に係る連絡調整等	741		
2					
3					

B. (株)エヌ・ティ・ティデータ関西

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・ティ・ティデータ関西	レシピエント検索システムの保守業務等	38	随意契約	
2					
3					

C. 日本カーライフアシスト(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本カーライフアシスト(株)	JACLA VISIONでの公共放送放映業務	5	随意契約	
2					
3					

D. (株)電通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)電通	インターネット広告によるバナー掲載業務	7	随意契約	
2					
3					

E. (株)メディアトラスト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)メディアトラスト	臓器提供意思登録システムの保守業務等	21	随意契約	
2					
3					

F. (財)日本アイバンク協会

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本アイバンク協会	ポスター、パンフレットの印刷等	4		
2					
3					